

福岡市提出資料



福岡市
グローバル創業・雇用創出特区



1 セキュリティ強化に向けた規制緩和

新規提案

IoT機器の新たな活用 につながる規制緩和を提案！

現状 ○ 様々な分野においてDXが推進される中、
化学薬品の保管場所の鍵は、依然として
紙の管理簿で管理する制度となっている。

課題 ○ IoTを用いた「スマートロック」を活用すれば、
安全な鍵の管理や作業の効率化が
図れるにもかかわらず、
デジタル形式での管理簿は認められていない。

そこで

提案 デジタル形式での鍵の管理を認め、

より安全かつ効率的な運用を可能にする。

(毒物及び劇物取締法等の緩和)

現状



提案



現場でのデジタル技術の活用 につながる規制緩和を提案！

現状 ○ 引火しやすい危険物を扱う施設では、危険度にかかわらず、スマートフォンやタブレット端末等のIoT機器の持ち込みが一律に禁止されている。

課題 ○ この制約により、危険度が低いエリアであっても、現場での確認・点検作業のDX化が進まず、業務の効率化が妨げられている。

そこで

提案 一定の要件を満たす場合に限り、
(防水・防塵の機能を有する等) 危険度が低いエリアでのIoT機器の使用を認める。

(労働安全衛生法等の緩和)

現状

オフィスでも…
(危険度が低いエリア)



紙の日報や点検用紙

提案

システムで
データ管理！



必要な情報は
デバイス一つでOK！

都市部でのドローン活用を促進する規制緩和を提案！

現状

- ドローンを活用することで、都市部のプラントなどにおける夜間監視の効率化が期待される。
- しかし、人が立ち入らないような場所であっても、地上での監視者の配置や柵の設置などの措置が必要となっている実態がある。

課題

- こうした煩雑な運用手続きやコストの増大などが、ドローンの柔軟な活用を妨げる要因となっている。

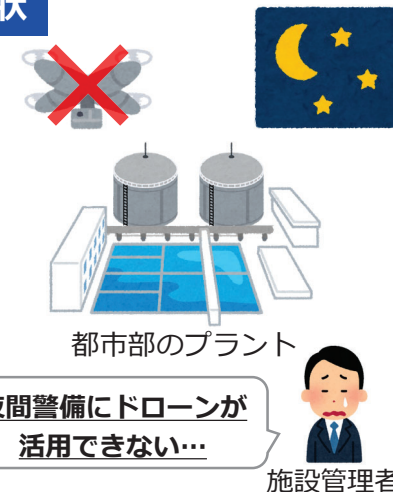
そこで

提案

一定の要件を満たした場合に限り、
(安全性の確保など)

ドローンの活用範囲を拡大し、より効果的な監視運用を可能にする。
(航空法の緩和)

現状



提案



新たな決済手段の普及 につながる規制緩和を提案！

- 現状**
- 暗号資産等の普及が進み、店舗での支払いにも利用できるようになっている。
 - スタートアップが、顧客と店舗間における安全な決済システムを開発している。

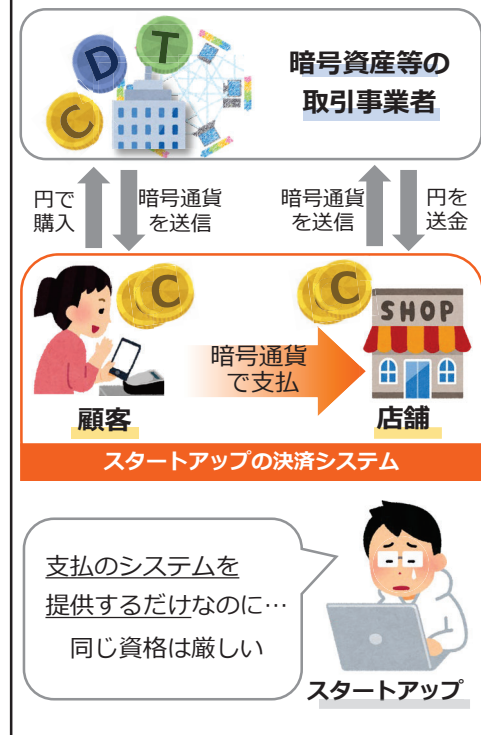
- 課題**
- しかし、スタートアップが決済システムを提供する際、取引に関与しない場合でも、取引事業者として、資格の登録が求められる。
 - このことが、新たな決済サービスが普及しない要因の一つとなっている。

そこで

- 提案**
- 一定の要件を満たす場合に限り、資格登録なし に
(取引に関与しないなど) 決済サービスの提供を可能 とする。

(資金決済法等の緩和)

▼暗号資産等を用いた決済のイメージ



マイナンバーカードの利便性向上のため、規制緩和を提案！

現状 ○マイナンバーカードの利用シーンの拡大が期待される中、国内スタートアップが、マイナンバーカードを活用したタッチ決済サービスを開発中。

課題 ○しかし、マイナンバーカードの「かざし利用」[※]は、屋内限定で決済にも使用できず、民間サービスでの活用が進まない要因の一つと考えられる。

※ 暗証番号の入力や顔認証を用いずに、カードを端末にかざして利用すること

そこで

提案 一定の要件を満たす場合に限り、「かざし利用」の（上限額の設定や利用時の対面確認など）

屋外での利用や決済への活用を可能とする。

（公的個人認証法等の緩和）

▼タッチ決済を体験する平デジタル大臣



提案

屋外も ○
決済も ○

カード1枚で！
かざして便利！



新たに1社のスタートアップを追加！

教育分野

ティーチャー 株式会社Teacher Teacher

令和6年3月設立

- ・オンラインフリースクール事業
- ・ポッドキャスト配信 など



企業と職員のマッチングイベント 等により

転職8事例目を創出！

(条例に基づく 退職手当の特例 を活用)



- ・排気ガスからCO2を回収し有効利用する技術の開発
- ・カーボンニュートラルに関するコンサルティング



▲スタートアップ支援施設でのマッチングイベント

スタートアップの課題である「質の高い人材の確保」を支援！

7 スタートアップへの投資拡大に向けた特例の活用

福岡市提案
が実現！

計画
認定

ベンチャーファンドにおいて、エンジェル投資家による**出資額の制限を除外**！

□ ベンチャーファンドを介したスタートアップへの資金の流れ

プロ投資家
(金融機関、保険会社等)



出資

エンジェル投資家



出資

ベンチャーファンド

● 新規認定企業 (2社)



Power Angels

株式会社Power Angels



みんなと投資、みんなと投資

minato

みなと投資株式会社

スタートアップ

投資



従前

エンジェル投資家からの出資額は
ファンド総額の2分の1未満に制限

提案

特例

ファンド総額の2分の1以上の
出資が可能に！

エンジェル投資家が出資の主体となった**新たなファンド**の創出！

スタートアップへの**投資機会**の拡充や、**成長資金**の供給拡大へ！